

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業(事業実施状況及び効果検証)

No	補助・単独	交付金の区分	交付対象事業の名称	事業の概要(実施計画より) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	所管課	決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	事業実績内訳	成果目標	効果検証	備考	
1	単独	通常	公共的空間安全・安心確保事業	① 感染症予防のため、公共的空間の安全安心を確保できるよう、空気清浄機、消毒等の購入及び、3密防止対策のための電子入札システム導入を行う。 ② 空気清浄機、消毒液、ミストファン等購入費、電子入札システム導入費 ③ 庁舎用空気清浄機 250千円×16台=4,000千円 飛沫防止アクリルパネル 11千円×50枚=550千円 庁舎分消毒等 2,450千円 小中学校・スクールバス用消毒・マスク等購入費 500千円 中学校体育館ミストファン整備費 660千円×4校=2,640千円 給食センターエアコンリース料 890千円 電子入札システム導入費等負担金 4,958千円 ④ 庁舎、市内小中学校、給食センター	R3.4	R4.3	総務課	2,453,662	2,453,662	・体温検知顔認証カメラ 1,372,800円 ・空気清浄機 396,000円 ・消毒等購入費 684,862円	R3~5までの3年間での進出企業について、市整備分6社、民間整備分3社を目指す。	R3末において、市整備分2社、民間整備分1社の企業進出があり、雇用の創出につながった。	消毒用アルコール・体温検知顔認証カメラ、空気清浄機等の購入により、公共的空間での新型コロナウイルス感染症を予防できた。 また、電子入札システムを導入することで、接触機会を減らし、新型コロナウイルス感染症を予防できた。	
							建設政策課	4,485,250	4,485,250	・飛沫防止アクリルパネル 525,250円 ・空気清浄機 3,960,000円				
							管財課	4,600,606	4,600,606	・LGWANICカードシステムスターターセット 37,400円 ・電子調達システム利用負担金 4,563,206円				
							学校教育課	3,783,318	3,753,318	・小中学校・スクールバス用消毒等購入費 772,618円 ・ミストファン購入費(中学校4校分) 2,365,000円 ・給食センターエアコンリース料・移設費 645,700円				
							小計	15,322,836	15,292,836					
2	単独	通常	学校の臨時休校に伴う学習等の支援事業	① 新型コロナウイルスの影響により保護者への緊急の文書送付、臨時休校による教材の送付等に対応する。 ② 郵送料 ③ 80円×1,334人=80千円 ④ 市内小中学校	R3.4	R4.2	学校教育課	130,429	130,429	・郵送料(休校対応分) 130,429円		児童・生徒・保護者への新型コロナウイルスに伴う臨時休業時における連絡を迅速に行うことができた。		
3	単独	通常	農畜産業者等支援事業	① 新型コロナウイルスの影響により収入が減少した農業・畜産業者等に対し、支援を行う。また道の駅備品購入を行う。 ② 繁殖雌牛更新助成、農業機械整備補助、道の駅備品購入 ③ 繁殖雌牛更新助成 80千円×6頭=480千円 農業機械整備補助金 200千円×10件=2,000千円 道の駅備品購入費 冷蔵ケース等 4,000千円 ④ 農業者、畜産業者、風の国	R3.4	R4.3	農林水産課	6,020,200	6,020,200	・繁殖雌牛更新助成 360,000円 ・農業機械整備補助金 1,500,000円 ・道の駅備品購入費(ナイフ機能付き冷蔵ケース等) 4,160,200円		新型コロナウイルスの影響により収入が減少した農業・畜産業者等に対し支援を行うことで、経営安定化、事業継続につながった。 道の駅においては、感染防止等の機器を設置することで、新型コロナウイルス感染症を予防できた。		
4	単独	事業者支援	中小企業等持続化応援金給付事業	① 新型コロナウイルスの影響により収入が減少した中小企業等に対し、令和2年8月から令和3年3月の間で任意の連続する3ヶ月平均及び、年間事業収入が20%以上減少した場合、事業者に対して、事業の継続を支えるため、市が応援金の給付を行う。 【追加】新型コロナウイルスの影響により収入が減少した中小企業等に対し、令和3年4月から9月の間の任意の連続する3ヶ月平均収入が前年度比20%以上減少した場合、事業者に対して、事業の継続を支えるため、市が応援金の給付を行う。 ② 応援金 ③ 応援金 100件×200千円=20,000千円 【追加分】300件×200千円=60,000千円 ④ 法人・個人事業者	R3.4	R4.1	商工観光課	29,141,000	29,141,000	【第2弾】 ・支給件数 38件 (法人 18件、個人事業主 20件) ・支給額 (法人 6,533,995円、個人事業主 4,956,002円) 11,489,997円 【第3弾】 ・支給件数 304件 (法人 106件、個人事業主 198件) ・支給額 57,175,152円 (法人 21,200,000円、個人事業主 35,975,152円) (内国R2予算分:16,925,748円) ・事務費 132,355円 ・審査業務委託料 592,900円		売上が減少した中小企業に応援金を給付し、事業継続の支援を行うことで、R3の廃業件数を20件以内に抑えることができた。(17件)		
5	補助	通常	地方創生テレワーク推進交付金	① 新型コロナウイルスの影響によるオフィス分散の流れの中、国の地方創生テレワーク推進交付金を活用し、サテライトオフィス誘致及び、市有建物を活用したサテライトオフィス整備、及びサテライトオフィス民間開設事業者への補助等を行う。 ② 企業誘致委託料、改修工事費、民間開設事業者補助金、進出企業支度金 ③ 企業誘致促進プロモーション業務委託料 6,655千円 改修工事費 37,153千円 オフィス備品購入費 7,435千円 サテライトオフィス開設支援事業補助金(民間開設補助) 23,386千円×1/2=11,693千円(事業者負担1/2) 進出企業支度金補助 1,000千円×6社(県外)+500千円×2社(県内)=7,000千円 ④ 地場産業振興センター(市)、進出企業、サテライトオフィス民間開設事業者	R3.4	R4.3	商工観光課	61,639,928	15,409,982	・プロモーション業務委託料(企業誘致促進、プロモーションツール作成) 6,171,000円 ・改修工事費 34,543,328円 ・オフィス備品購入費 8,289,600円 ・サテライトオフィス開設支援事業補助金 11,136,000円 ・進出企業支度金補助 1,500,000円	R3~5までの3年間で進出企業について、市整備分6社、民間整備分3社を目指す。	R3末において、市整備分2社、民間整備分1社の企業進出があり、雇用の創出につながった。		
6	単独	通常	サテライトオフィス等整備推進事業	① 国のテレワーク交付金を活用したサテライトオフィス誘致事業を行うにあたり、既存市有建物をサテライトオフィス対応にするための設計及び工事(テレワーク交付金事業の継ぎ足し)を行う。 ② サテライトオフィス設計委託料、改修工事費 ③ サテライトオフィス等設計業務委託料 6,050千円 改修工事費 25,000千円 ④ 地場産業振興センター(市)	R3.4	R4.3	商工観光課	30,550,889	30,550,889	・設計業務委託料 5,885,000円 ・改修工事費 24,245,072円 ・抗菌コーティング処理委託料 418,000円 ・ドメイン取得費 2,817円	R3~5までの3年間で進出企業について、市整備分6社、民間整備分3社を目指す。	R3末において、市整備分2社、民間整備分1社の企業進出があり、雇用の創出につながった。		

No	補助・単独	交付金の区分	交付対象事業の名称	事業の概要（実施計画より） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	所管課	決算額 （円）	交付金 充当額 （円）	事業実績内訳	成果目標	効果検証	備考	
7	単独	通常	修学旅行キャンセル料補助事業	① 新型コロナウイルスの影響により、予定していた小中学校の修学旅行をキャンセルせざるを得ない状況になった際に、キャンセル料の補填を行う。 ② 修学旅行キャンセル料 ③ 546千円×11校=6,000千円 ④ 市教育研究会、旅行会社	R3.6	R4.3	学校教育課	-	-	実績なし				
8	単独	通常	有福温泉活性化事業	① 新型コロナウイルスで打撃を受けた観光業を再生するため、R2の国の3次補正で予算化された既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業に本市が採択されたことに伴い、観光施設の改修、感染症対策等に対し、事業者へ補助を行う。また解体する旧旅館の精算・登記業務を行う。 ② 改装等補助金（民間）、登記業務委託料・清算人業務委託料（市）、看板設置費・修繕費、臨時駐車場用地借上料 ③ 民間補助 30,000千円（4事業者） 旅費150千円、債権解除手数料 200千円 看板設置手数料 110千円、観光看板修繕 21千円 登記業務委託料 884千円 臨時駐車場用地借上料 105千円 アスベスト調査委託料 830千円 ④ 民間事業者、司法書士等	R3.6	R4.3	商工観光課	93,313,277	53,721,277	・民間補助金 89,194,000円 ・旅費 153,460円 ・債権解除手数料 200,000円 ・看板設置手数料 105,490円 ・観光看板修繕 20,350円 ・登記業務委託料 883,977円 ・臨時駐車場用地借上料 105,000円 ・アスベスト調査委託料 836,000円 ・仮設道設計業務委託料 1,815,000円	R7での観光客入込 客数125,719人（R1比 +36,953人） R7での観光消費額 221,640千円（R1比 +82,724千円） を 目指す。 1,815,000円	R3年度は、土産物屋を改修したセントラル キッチンのオープン、6つの宿泊施設の高付 加価値化、休職中のカフェの再開、廃業した 2旅館の解体工事に取り組み、地域計画の コンセプトにある「地域まるごとホテル」構想 に向け進んでいる。		
9	単独	通常	遠隔・オンライン 学習の環境整備、 GIGAスクール構 想への支援事業	① 新型コロナの影響により、本市が運営する不登校児童生徒適応指導 教室（あおぞら学園）に通う児童・生徒が通園できなくなった場合に対応す べく、各小中学校のGIGAスクール構想の推進と同様に、ネットワーク環境 の整備を行う。また、アフターコロナを見据えた授業のデジタル化、GIGAス クール構想推進のため、授業用大型モニターを小中学校に整備する。 ② ネットワーク環境構築・無線AP、HUB設置等委託料 大型モニター購入費 ③ 業務委託料 800千円 大型モニター 330千円×31台=10,230千円 ④ あおぞら学園（市）、市内小中学校	R3.9	R5.3	学校教育課	7,634,000	7,634,000	・あおぞら学園無線環境整備委託料 ・大型モニター購入費（38台）	528,000円 7,106,000円	小中学校及び教育 支援センターにおい てネットワーク環境 整備100%を目指 す。 普通教室及び特別 教室の大型モニター 整備率100%を指 す。	小中学校普通教室及び教育支援センター においてネットワーク環境整備100%を達成 できた。 普通教室及び特別教室の大型モニター整 備率100%を達成できた。	
10	単独	通常	有福温泉活性化 事業	① 新型コロナウイルスで打撃を受けた観光業を再生するため、R2の国の3 次補正で予算化された既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業に 本市が採択されたことに伴い、観光施設の改修、感染症対策等に対し、事 業者に補助を行う。また市において、旧旅館の解体撤去工事（国庫補助事 業の継ぎ単独分）及び付帯工事を行う。 ② 改装等補助金（民間）、解体撤去工事 ③ 民間補助 30,000千円（3事業者） 解体撤去工事費 10,000千円（事業費35,000千円） 仮設道路、排水処理等付帯工事 2,000千円 ④ 民間事業者、市（旧民間旅館解体）	R3.6	R4.11	商工観光課	25,309,400	19,222,400	・民間補助 ・仮設道工事費	15,174,000円 10,135,400円	R7での観光客入込 客数125,719人（R1比 +36,953人） R7での観光消費額 221,640千円（R1比 +82,724千円）を 目指す。	R3年度は、土産物屋を改修したセントラル キッチンのオープン、6つの宿泊施設の高付 加価値化、休職中のカフェの再開、廃業した 2旅館の解体工事に取り組み、地域計画の コンセプトにある「地域まるごとホテル」構想 に向け進んでいる。	
11	補助	通常	訪日外国人旅行 者受入環境整備 緊急対策事業費 補助金	① 新型コロナウイルスで打撃を受けた観光業を再生するため、R2の国の3 次補正で予算化された既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業に 本市が採択されたことに伴い、閉鎖した民間旅館の解体及び付帯工事を 行う。 ② 解体設計委託料、解体撤去工事 ③ 解体設計委託料 10,000千円 解体撤去工事費 30,000千円（事業費計80,000千円） 仮設道路、排水処理等付帯工事 10,000千円 ④ 事業主体：市（旧民間旅館解体）	R3.6	R4.3	商工観光課	70,646,840	23,549,840	・解体設計委託料 ・工損調査委託料 ・解体撤去工事費	4,206,840円 1,232,000円 65,208,000円	R7での観光客入込 客数125,719人（R1比 +36,953人） R7での観光消費額 221,640千円（R1比 +82,724千円）を 目指す。	R3年度は、土産物屋を改修したセントラル キッチンのオープン、6つの宿泊施設の高付 加価値化、休職中のカフェの再開、廃業した 2旅館の解体工事に取り組み、地域計画の コンセプトにある「地域まるごとホテル」構想 に向け進んでいる。	
12	単独	通常	地域応援券事業	① 新型コロナの影響により売上が減少した市内業者の応援、地域経済の 活性化のため、全市民に対し1人3,000円分の地域応援券を配布する。 ② 換金資金、換金手数料、委託料、印刷費、郵送料 ③ 換金資金 500円券×6枚×23,000人=69,000千円 換金手数料 2,070千円、商工委委託料 207千円 印刷費 2,000千円、郵送料 5,842千円 ④ 江津商工会議所（事業主体）	R3.10	R4.3	商工観光課	73,569,040	73,569,040	・商工委委託料（換金原資・換金手数料含む） ・印刷費 ・郵送料 ・事務費等	66,009,100円 1,849,540円 5,531,473円 178,927円	地域応援券換金率 80%を目指す。	地域応援券換金率94.7%を達成し、新型コ ロナの影響により売上が減少した市内業者 の応援、地域経済の活性化の一助となった。	
13	単独	通常	神楽団体支援事 業	① 新型コロナの影響により健全な資金繰りが困難となった石見神楽の担 い手団体を支援するため、団体の経常経費、神楽道具の修繕等経費に対 し補助を行う。 ② 神楽衣装の新規購入費及び修繕料、道具収納倉庫借上料等 ③ 補助金内訳 300千円×18団体=5,400千円 ④ 市内神楽団体	R3.12	R4.3	商工観光課	2,990,000	2,990,000	・神楽団体運営費補助金（13団体）	2,990,000円	神楽団体の継続率 100%を目指す。	運営費補助を行うことで、神楽団体の継続 率100%が達成され、伝統文化の継承につな がった。	
14	補助	通常	学校保健特別 対策事業費補助金	① 新型コロナ感染症対策のため、市内の小中学校においてマスク等を購 入する。 ② 消耗品費等 小学校100千円×7校=700千円 ③ 消耗品費等 中学校100千円×4校=400千円 ④ 市内小中学校	R3.12	R4.3	学校教育課	1,100,000	550,000	・小中学校マスク等消耗品費	1,100,000円	小中学校におけ る感染症対策を徹 底し、感染者を最 小限にする。	小中学校における感染症対策を徹底し、感 染者を最小限にすることができた。	

No	補助・単独	交付金の区分	交付対象事業の名称	事業の概要（実施計画より） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	所管課	決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	事業実績内訳	成果目標	効果検証	備考	
15	補助	通常	学校保健特別対策事業費補助金	① 新型コロナウイルス感染症対策のため、市内の小中学校においてマスク等を購入する。 ② 消耗品費等 ③ 消耗品費等 小学校900千円×6校+1,350千円×1校=6,750千円、中学校900千円×4校=3,600千円 ④ 市内小中学校	R4.3	R5.3	学校教育課	10,350,000	5,175,000	・小中学校マスク等消耗品費	10,350,000円	小中学校における感染症対策を徹底し、感染者を最小限にする。 小中学校における感染症対策を徹底し、感染者を最小限にすることができた。		
16	単独	通常	公共交通応援事業	① 新型コロナウイルスの影響により売上が減少した公共交通事業者の支援及び、今後の公共交通確保・維持を図るため、交通事業者に対し運行経費の一部を補助する。 ② 補助金 ③ バス事業特別支援補助金 広域バス路線 500千円 ④ バス事業者	R3.12	R4.3	地域振興課	403,000	403,000	・公共交通特別支援事業交付金 広域バス路線(1事業者3路線分)	403,000円	バス事業者の廃業ゼロを目指す。 運行経費の一部を交付することにより、安定的な経営の維持につなげ、バス事業者の廃業を防ぐことができた。		
17	単独	通常	公共的空間安全・安心確保事業	① 新型コロナウイルス感染症予防のため、小中学校の安全安心を確保できるよう、消毒液等の購入を行う。 ② 消毒液、マスク等購入費 ③ 消毒・マスク等購入費 300千円×11校=3,300千円 ④ 市内小中学校	R3.4	R4.3	学校教育課	-	-	- 実績なし	-	小中学校における感染症対策を徹底し、感染者を最小限にする。		
18	単独	通常	公共的空間安全・安心確保事業	① 新型コロナウイルス感染症予防のため、公共的空間の安全安心を確保できるよう、消毒液、ミストファン等を購入する。 ② 消毒液、ミストファン ③ 消毒液 3,000千円(庁舎) ミストファン 600千円×7台=4,200千円(小学校) ④ 庁舎、市内小学校	R4.3	R5.2	学校教育課	4,713,519	4,705,628	・消毒液等消耗品費 ・パーテーション設置費 ・空気清浄機購入費 ・ミストファン購入費	636,649円 591,470円 240,400円 3,245,000円	庁舎、小中学校における感染症対策を徹底し、感染者を最小限にする。	庁舎、小中学校における感染症対策を徹底し、感染者を最小限にすることができた。	
19	単独	通常	公共的空間安全・安心確保事業	① 新型コロナウイルス感染症予防のため、公共的空間の安全安心を確保できるよう、消毒液、パーテーション等を購入する。また、庁舎等の公共施設に市民が安心して来られるよう、コロナ抗原検査キットを購入する。 ② 消毒液、パーテーション、検査キット等購入費 ③ 消毒液 1,000千円 パーテーション 1,000千円 検査キット 1,700円×2,000個=3,400千円 ④ 庁舎	R4.1	R4.3	人事課	1,732,500	1,732,500	・抗原検査キット(1,050個)	1,732,500円	公共施設における感染症対策を徹底し、感染者を最小限にする。	感染者が発生した場合における消毒作業の実施、感染が疑われる方の抗原検査キットの使用等、公共施設における感染者を最小限にとどめることができた。	
							総務課	770,000	770,000	・消毒対応防護服購入(200着)	770,000円			
							小計	2,502,500	2,502,500					
20	単独	通常	保育施設支援事業	① 新型コロナウイルスの影響による保育施設の登園自粛に伴い、保育施設が徴収した副食費を登園自粛者に返金する必要があるが、すでに購入している副食経費については、施設の負担となるため、市が補填補助を行い保育施設を支援する。 ② 副食費補填補助金 ③ 200円×200人×14日=560千円 ④ 保育施設	R4.3	R4.3	子育て支援課	253,387	253,387	・副食費補填補助金(13ヵ所)	253,387円	保育施設の副食経費負担を0にする。	登園自粛時の保育施設の副食経費負担0が達成でき、安定した施設運営につながった。	
21	補助	通常	公立学校情報機器整備費補助金	① 新型コロナウイルスの影響により臨時休校になった際の自宅での学習を支援する等、GIGAスクール構想を推進するため、GIGAスクールサポーターの配置を行う。 ② スクールサポーター報酬 ③ 報酬 70千円×7ヶ月=490千円 ④ 市内小中学校	R3.4	R4.3	学校教育課	235,610	118,610	・GIGAスクールサポーター報酬	235,610円	全小中学校への訪問による支援を目指す。	全小中学校へGIGAスクールサポーターの訪問支援を行うことができ、GIGAスクール構想を推進することができた。	
22	単独	通常	農畜産業者等支援事業	① 新型コロナウイルスの影響により収入が減少した農業・畜産業者等に対し支援を行う。また道の駅の整備を行う。 ② 1繁殖雌牛更新助成 2地元農産物を市外等へ郵送する際の郵送料補助 3主食用米、それ以外の作物の販路開拓活動費補助 4堆肥・土壌改良剤購入助成 5道の駅機器購入費 6繁殖雌牛更新助成 80千円×9頭=720千円 2地域資源利用促進協議会補助金 178千円 3水田農業経営安定推進緊急対策補助金 1,144千円 4堆肥・土壌改良剤購入助成 2,000千円 5道の駅クレジットカード決済端末、PC等購入費 2,116千円 ④ 1畜産業者、2地域資源利用促進協議会、3江津市農業再生協議会、4JA、5道の駅	R4.3	R5.3	農林水産課	5,235,837	5,235,837	・繁殖雌牛更新助成 ・地域資源利用促進協議会補助金 ・水田農業経営安定推進緊急対策補助金 ・堆肥・土壌改良剤購入助成 ・道の駅備品購入費	160,000円 177,487円 948,109円 1,670,931円 2,279,310円	認定農業者数の16名の維持を目指す。 道の駅売上目標9,000万円を目指す。	水田転作支援等、農業従事者への支援を行うことで、認定農業者16名の維持は達成された。 新型コロナウイルスの影響により来客数は減少したが、産直野菜のオンライン注文や配達などを行い、道の駅売上目標9,000万円は達成できた。	
23	単独	通常	学校給食関連事業者等への応援事業	① 新型コロナウイルスの影響により小中学校が臨時休校になった際に、すでに購入している給食食材費については、児童生徒から徴収できず施設の負担となるため、市が補填補助を行い学校給食を支援する。 ② 補助金 ③ 補助金 小中学生1500人×300円×18日=8,100千円 ④ 学校給食	R4.1	R4.3	学校教育課	-	-	- 実績なし	-			

No	補助・単独	交付金の区分	交付対象事業の名称	事業の概要（実施計画より） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	所管課	決算額 （円）	交付金 充当額 （円）	事業実績内訳	成果目標	効果検証	備考	
24	単独	通常	学校空調整備事業	① 新型コロナの影響により、臨時休校になった際の夏季登校をみすえ、小中学校の特別教室の空調整備を行う。 ② 空調整備工事費 ③ 5,000千円×5校=25,000千円 ④ 市内小中学校	R3.4	R4.3	学校教育課	-	-	実績なし(他財源対応)				
25	単独	通常	学校の臨時休校に伴う学習等の支援事業	① 新型コロナの影響により臨時休校になった際、小中学生が自宅でタブレット端末を使用できるよう、WiFiルーター貸出を行う。また、臨時休校中に自宅にいないことができない小学生のため、放課後児童クラブを開設し、小学生の安全を守る。 ② WiFi通信料、放課後児童クラブ委託料 ③ 通信費 25回線×6千円×3ヶ月=450千円 放課後児童クラブ委託料 80千円×9教室=720千円 ④ 小中学生、放課後児童クラブ運営団体	R4.1	R4.3	学校教育課	166,381	166,381	・貸出用Wi-Fi利用料	166,381円	感染症に伴う臨時休業時においてネットワークを通じた学習支援の全小中学校実施を目指す。臨時休校中の全児童の安全を確保する。	臨時休校中にWi-Fi貸出を行うことで、ネットワークを通じた学習支援の全小中学校実施が達成できた。	
26	補助	通常	地方消費者行政強化交付金	① 新型コロナの蔓延時やその後の生活における様々な消費者トラブルを未然に防ぐため、市内の学生や新たな生活を始める新成人等を対象に啓発冊子を作成し配布する。 ② 印刷製本費 ③ 印刷製本費 250円×656冊=164千円 ④ 市内中学校、新成人	R3.4	R4.1	総務課	164,000	82,000	・消費者トラブル防止用啓発冊子印刷費	164,000円	消費者トラブルゼロを目指す。	冊子を作成・配布することで、消費者トラブルゼロにするための啓発はできた。	
27	単独	通常	自宅療養者等生活支援事業	① 新型コロナウイルスの影響により自宅待機となった者で、親族等の支援が受けられないものに対し、買い物代行や薬剤の受け取り代行を事業者に委託し、療養生活を支援する。 ② 委託料 ③ 委託料 2,000円×10日×5人=100千円 ④ 民間事業者	R4.1	R4.3	社会福祉課	6,000	6,000	・自宅療養者等生活支援事業委託料	6,000円	自宅療養者の生活環境を改善する。	自宅療養者となった方の買い物代行等支援を行うことで、生活環境を改善できた。	
28	単独	通常	中小企業等持続化応援金給付事業	① 新型コロナウイルスの影響により収入が減少した中小企業等に対し、令和2年8月から令和3年3月の間で任意の連続する3ヶ月平均及び、年間事業収入が20%以上減少した場合、事業者に対して、事業の継続を支えるため、市が応援金の給付を行う。 【追加分】新型コロナウイルスの影響により収入が減少した中小企業等に対し、令和3年4月から9月の間の任意の連続する3ヶ月平均収入が前年度比20%以上減少した場合、事業者に対して、事業の継続を支えるため、市が応援金の給付を行う。 ② 応援金 ③ 【追加分】 50件×200千円=10,000千円 ④ 法人・個人事業者	R3.4	R4.1	商工観光課	40,249,404	40,249,404	【第3弾】 ・支給件数 304件 （法人 106件、個人事業主 198件） ・支給額 57,175,152円 （法人 21,200,000円、個人事業主 35,975,152円） （内国R3予算分：40,249,404円）	40,249,404円	R3の廃業件数を20件以内に抑える。	売上が減少した中小企業に応援金を給付し、事業継続の支援を行うことで、R3の廃業件数を20件以内に抑えることができた。（17件）	
29	補助	通常	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金	① 新型コロナウイルスで打撃を受けた観光業を再生するため、R2の国の3次補正で予算化された既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業に本市が採択されたことに伴い、閉鎖した民間旅館の解体を市で行う。 ② 解体設計委託料、解体撤去工事 ③ 解体設計委託料 10,000千円 解体撤去工事 20,000千円(事業費計90,000千円) ④ 事業主体：市(旧民間旅館解体)	R3.6	R4.2	商工観光課	82,783,360	27,595,360	・解体設計委託料 ・工損調査委託料 ・解体撤去工事費	3,328,160円 2,462,900円 76,992,300円	R7での観光客入込人数125,719人(R1比+36,953人) R7での観光消費額221,640千円(R1比+82,724千円)を目指す。	R3年度は、土産物屋を改修したセントラルキッチンのオープン、6つの宿泊施設の高付加価値化、休命中のカフェの再開、廃業した2旅館の解体工事に取り組み、地域計画のコンセプトにある「地域まるごとホテル」構想に向け進んでいる。	
								564,430,837	364,275,000					